

Course Directors

稲田 毅
豊橋ハートセンター

大石 景子
国立病院長崎医療センター

小早川 香樹
滋賀県立成人病センター

小味 昌憲
熊本大学医学部附属病院

穴戸 笑美
草津ハートセンター

添田 信之
星総合病院

辻井 正人
三重ハートセンター

中山 美恵子
桜橋渡辺病院

鯨井 秀之
大手前病院

平田 和也
北海道社会保険病院

藤田 光広
公立阿伎留医療センター

三上 剛人
学校法人吉田学園

守屋 元
大和成和病院

柳沼 昇
心臓血管センター北海道大野病院

International Faculty

Dae Woo Kwon
Cardiovascular Center of Pusan National
University Yangsan Hospital

Hee Ock Yoo
Soon Chun Hyang University Bucheon Hospital

Japanese Faculty

相田 伸二
京都大学医学部附属病院

赤松 俊二
滋賀県立成人病センター

浅井 優子
名古屋ハートセンター

栗井 一夫
独立行政法人国立病院機構福井病院

井垣 誠
公立豊岡病院日高医療センター

石川 亜衣
心臓血管センター北海道大野病院

石川 芳枝
星総合病院

出内 加奈
心臓血管センター北海道大野病院

伊藤 太
名古屋セントラル病院

伊藤 三紀
札幌市病院局市立札幌病院

井上 健
高清会高井病院

上田 夏樹
心臓血管センター北海道大野病院

上田 祐二
今里ハートクリニック

内田 幸子
新東京病院

梅田 ひろみ
小倉記念病院

江川 公伸
戸田中央総合病院

太田 悦雄
京都大学医学部附属病院

大西 秀行
国立循環器病センター

大畑 善治
小倉記念病院

岡田 忠久
京都桂病院

小川 幸宏
新東京病院

奥田 正穂
市立札幌病院

小倉 圭史
札幌医科大学附属病院

鍵谷 文彦
東京医科大学八王子医療センター

河合 政和
KKR 大手前病院

川合 正人
名古屋ハートセンター

菊地 康昭
星総合病院

菊山 しおり
桜橋渡辺病院

木田 朝子
大和成和病院

北井 孝明
KKR舞鶴共済病院

北川 文彦
藤田保健衛生大学病院

木下 昌樹
岡崎市民病院

喜村 真帆
時計台記念病院

京谷 勉輔
三菱神戸病院

清本 昌義
大阪警察病院

口ノ町 俊嗣
豊橋ハートセンター

國井 由花
会津中央病院

小林 俊博
岐阜ハートセンター

小林 博
大阪警察病院

小味 昌憲
熊本大学医学部附属病院

小室 拓也
倉敷中央病院

小山 順子
豊橋ハートセンター

近藤 優一
北光記念病院

齊木 力
東海大学医学部付属病院

堺 美郎
済生会熊本病院

坂元 正和
国立循環器病センター

佐久間 浩樹
星総合病院

桜山 千恵子
社会保険中央総合病院

佐々木 敬子
菊名記念病院

佐藤 直子
湘南鎌倉総合病院

佐野 始也
高瀬クリニック

椎原 大介
東京警察病院

柴田 正慶
天理よろづ相談所病院

島袋 朋子
湘南鎌倉総合病院

清水 速人
倉敷中央病院

瀬川 久江
大阪府看護協会

平良 祐子
桜橋渡辺病院

高垣 勝
滋賀県立成人病センター

高橋 笑美
旭川医科大学病院

竹内 正人
島原病院

竹本 和司
和歌山県立医科大学附属病院

CCT2010
Co-medical

Dates 2010年1月28日(木) ⇒ 30日(土)

Venue 神戸国際展示場 Room 4, Room 5, Room 7

Course Objectives

田島 修
埼玉県立循環器-呼吸器病センター

龍野 和恵
京都大学医学部附属病院

田中 厚宏
東京女子医科大学病院

辻井 正人
三重ハートセンター

辻生 真由美
新古賀病院

鶴岡 尚志
国家公務員共済会連合会三宿病院

堂領 和彦
順天堂大学医学部附属順天堂医院

富田 紀雄
仙台厚生病院

永井 悟
茅ヶ崎徳洲会総合病院

永井 美枝子
済生会横浜市東部病院

中川 透
金沢医科大学病院

中嶋 勉
群馬県立心臓血管センター

中原 誠
兵庫県立西宮病院

中村 敦
大阪市立大学医学部附属病院

中村 靖代
心臓血管センター北海道大野病院

中村 康雄
社団法人有隣厚生会 富士病院

中山 一夫
新東京病院

西村 正樹
医仁会武田総合病院

丹生 治司
小倉記念病院

納口 英次
心臓血管研究所附属病院

野崎 暢仁
康生会武田病院

野芝 志乃
豊橋ハートセンター

野田 主税
昭和大学病院

野村 典子
滋賀県立成人病センター

塙 典子
大和成和病院

葉山 恵津子
心臓血管研究所附属病院

疋田 健
洛和会丸太町病院

古家 賢治
野崎徳州会病院

前川 正樹
桜橋渡辺病院

松原 沙織
心臓血管センター北海道大野病院

松本 一真
兵庫医科大学病院

水戸 武史
真面目立病院

宮下 誠
京都第一赤十字病院

宮本 秋生
札幌心臓血管クリニック

村上 和男
草津ハートセンター

山口 隆義
北海道社会保険病院

山口 敏和
名古屋ハートセンター

山下 好史
三井記念病院

山本 基善
心臓血管センター金沢循環器病院

横山 紀美子
佐世保中央病院地域医療連携センター

横山 博典
国立循環器病センター

善積 透
医療法人川崎病院

コラボレーション:

Drの仕事を理解し、一緒に治療に参加しよう!

昨今、技術の発達などにより、血管内治療が心臓(PCI)、末梢血管(PPI)、脳血管(CAS)と大動脈STENTなどと多岐多様となってきています。現場ではチーム医療の大切さが言われていますが、手技の煩雑さや多様化により理解することが非常に難しくなっています。

CCT2010コメディカルでは“コラボレーション:医師の様々な技術、手技を理解し一緒に治療を行いましょ”をテーマに原点から未来までを考えながら日々の臨床に役立つプログラムを考えております。

また昨年までと異なり外科部門もコメディカルと一緒に活動することとなりました。皆様、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

- 原点に戻る。基礎知識の再確認。
- 新しい技術、治療法を理解しよう。
- 血管治療の変遷、歴史を振り返る。
- 全てのスタッフに求められる医療の安全。
- 病診連携のこれからのあり方。


(50音順)
(2010年1月23日現在)

Program at a glance

Thursday, January 28

Friday, January 29

Saturday, January 30

神戸国際展示場		神戸国際展示場		神戸国際展示場		
Room 4	Room 7	Room 4	Room 7	Room 4	Room 5	Room 7
8:00						
9:00	モニター心電図のみかた (基礎編)	ビデオレクチャー これだけは知っておきたい、心臓外科手術!		PCIのデバイスを理解しよう		心カテにおいての看護師及び他 コメディカルスタッフの在り方とは
10:00	モニター心電図のみかた (徐脈性不整脈)	術中のエコーでこれがみえる!	コメディカルに必要な基礎知識			
11:00	モニター心電図のみかた (頻脈性不整脈)	心臓血管外科手術中の看護記録の現状とこれからは?		こんなときに備えて…合併症と急変時対応		患者教育 -効果的な患者教育で、看護の質を高めよう!-
12:00	モニター心電図のみかた (ペースメーカー編)	弁膜症外科治療の遍歴		LS チーム医療最前線 →遠隔モニタリングシステム「ケアリンク」のベネフィット		LS TBA
13:00	LS これからの植込み型デバイス患者管理 ～ホームモニタリングシステムの活用～		LS 心臓血管センターにおけるPCIと看護の最前線		LIVE	血圧・中心血圧の意義
14:00	ペースメーカー移植術立会い		 韓国コメディカル講演		コメディカルライブ	PWV・ABIの基本
15:00	埋込型除細動器(ICD)移植術立会い	心臓末梢血管のMRIについて		検査 (エコーハンズオン)		虚血性疾患の血液データの読み方
16:00	両室ペーシング機能付き埋込型除細動器(CRT-D)移植術立会い	確かめてみよう! 動脈硬化と血管・心臓病変	新人教育 -新人看護師さんへの指導、どこまで必要?-			
17:00	両室ペーシングレスポンダー、ノンレスポンダー	Coronary CT	緊急病態・重症病態への対応			
18:00						
19:00	FS 佐世保中央病院における地域連携バス成功のコツ		FS			
19:00	地域連携バスにおけるコメディカルの役割		IVUS虎の巻			
20:00						

FS Fireside Session LS Luncheon Seminar

Thursday, January 28

Room 4

8:30-9:30 モニター心電図のみかた（基礎編）

モニター心電図の監視は、カテテル室において必ず必要となります。患者の病態を刻々と表しており、重篤な状態に陥らないように絶えず監視している必要があります。またモニター心電図はカテテル室だけにとどまらず、病棟、処置室、ペースメーカークリニック時などあらゆる場所で必要となります。しかし、一言で監視といっても、心電図を判読できなければなりません。そこで、今回は少しでもモニター心電図を判読できるようになっていただけるよう企画しました。まずは、どうして心電図波形ができていくのか等の基本からしっかりと勉強していきましょう。

座長
清水 速人
演者
辻井 正人

9:30-10:30 モニター心電図のみかた（徐脈性不整脈）

徐脈性不整脈といっても、たくさん原因があります。その原因をわかりやすく教えていただき、また他の原因との鑑別のしかたや、実際に臨床の場で徐脈に遭遇した場合、どのようにコメディカルは対応すればよいのか、また、その治療法には何かあるのかまでをしっかりと教えていただきます。

座長
小林 博
演者
小室 拓也

10:30-11:30 モニター心電図のみかた（頻脈性不整脈）

徐脈性不整脈と同様に頻脈性不整脈の原因もたくさんあります。その原因をわかりやすく教えていただき、また上室性と心室性の鑑別方法や、実際に臨床の場で頻脈に遭遇した場合、どのようにコメディカルは対応すればよいのか、また、その治療法には何かあるのかまでをしっかりと教えていただきます。

座長
大西 秀行
演者
丹生 治司

11:30-12:30 モニター心電図のみかた（ペースメーカー編）

モニター心電図は、ペースメーカー植え込み時から病棟においてペースメーカーの異常を真っ先に発見・原因究明できる優れたものです。今回は、まずペースメーカーの通常パターンの心電図と異常心電図、不応期などの影響で通常のパターンとは違う心電図を判読できるように簡単に解りやすく講演していただきます。

座長
伊藤 太
演者
葉山 恵津子

Luncheon Seminar

12:45-13:45

ICD, CRTD等のクリニックは、なかなか素人のコメディカルには取っ付きにくい分野ですが、やっと日本でも遠隔モニタリング（Home Monitoring）ができるようになり、クリニックの前に事前に異常を発見することができます。事前に、異常の内容や心内心電図を解析できるため、自信のない素人でも患者が病院に到着するまでに時間的余裕ができるため、その間に医師や先輩、業者の方などに教わるすることができます。よって患者が病院に到着した時は難なくクリニックできるようになりました。そのすぐれもの遠隔モニタリングとはどんなものかをしっかりと説明していただきます。

座長
山城 荒平（豊橋ハートセンター）
演者
これからの植込み型デバイス患者管理
～ホームモニタリングシステムの活用～
古荘 浩司（金沢大学附属病院）

共催：パイオトロニック株式会社

14:00-15:00 ペースメーカー移植術立会い

ペースメーカー移植術の実際の流れにそって、コメディカルはなにをすればいいのか、すぐ実践で役立つように、細かくそのポイントとコツを教えてください。

座長
田中 厚宏
演者
木下 昌樹

15:00-16:00 **埋込型除細動器 (ICD) 移植術立会い**

どのようにしてICDの移植術をしているんだろう？埋込みできない施設のかたも、実際の流れにそって、わかりやすく説明していただきますので知識を増やすためにどんでん参加してください。また、移植術をできる施設のかたには、コメディカルはなにをすればいいのか、すぐ実践で役立つように、細かくそのポイントとコツを教えてください。

座長
堺 美郎

演者
高垣 勝

16:00-17:00 **両室ペーシング機能付き埋込型除細動器 (CRTD) 移植術立会い**

CRTDの移植術はICD移植術とほぼ同じですが、冠静脈洞 (CS) に左室リードを挿入する難しい手技が加わります。CSの解剖、CSのどの枝を選ぶか、CSリードの特性等、また、コメディカルはなにをすればいいのかを、すぐ実践で役立つように、細かくそのポイントとコツを教えてください。埋込みできない施設のかたも、どんなことをしているのか勉強しにきてください。

座長
中嶋 勉

演者
柴田 正慶

17:00-18:00 **両室ペーシングレスポンダー、ノンレスポンダー**

両室ペーシングの適応をどのように決めているのか、またレスポンダー、ノンレスポンダーはどのように評価しているのか、また、どのように評価すればよいのか心臓超音波を中心に細かく教えてください。また、特殊な装置がない施設のかたにも評価できる方法も教えてください。

座長
小川 幸宏

演者
梅田 ひろみ

Fireside Session

18:15-19:45

座長
大石 景子
添田 信之

演者
佐世保中央病院における地域連携バス成功のコツ
横山 紀美子 (佐世保中央病院地域医療連携センター)
地域連携バスにおけるコメディカルの役割
川本 俊治 (呉医療センター)

共催：第一三共株式会社

Room 79:00-12:30 **放射線技師に役立つはなし**

循環器領域において放射線技師の役割は多様化しているのが現状であります。今回、前半は心臓の解剖、心電図、IVUS、被ばくなど基礎的な内容を、後半は技師にとって必要な内容を講演していただこうと思います。

座長
鯉井 秀之、横山 博典

演者
心臓の解剖について
北井 孝明

心電図について
田島 修

IVUSについて
中原 誠

被ばくについて
松本 一真

心臓CTの撮影条件について
中村 敦

当センターにおけるスタディ報告
口ノ町 俊嗣

循環器領域のデバイスについて
古家 賢治

14:00-15:30 **心臓・末梢血管のMRについて**

ここ数年、3TMR装置が臨床に導入されてきています。そのSNRの高さは脳神経領域には有用ですが、体幹部領域では共鳴周波数が高くなることに起因する問題点が多く、特に心臓領域や末梢血管領域ではその影響を受けやすいですが、これらの問題点も含めて、心臓・末梢血管領域のMR検査について講演していただきます。

座長
京谷 勉輔

演者
心臓MR検査について
小味 昌憲

末梢血管MR検査について
野田 主税

15:30-16:30 **Coronary CT Part 1**

心臓CT検査は、虚血性心疾患の診断ツールとして広く普及しました。今後も、各施設への導入がさらに進み、心電図や心臓超音波検査と同様、スタンダードな検査として定着していくものと思われます。そこで、今回は、様々な施設における心臓CT検査の現状と、その検査実績についてご報告いただき、普及に向けた問題点等を議論したいと思っております。また、心臓CT検査の本質を再確認するため、歴史を振り返り、そして、今後の方向性についても講演していただきます。

座長
堂領 和彦、山口 隆義

演者
冠動脈CTの歴史と技術革新
安野 泰史 (藤田保健衛生大学 衛生学部教授)

16:45-18:45 **Coronary CT Part 2**

座長
佐野 始也、山口 隆義

演者
当院のCCTAにおける現状
近藤 優一

当院における冠動脈CTの実際
西村 正樹

当院におけるCoronary CTの現状について
江川 公伸

見て!見て!うちのCCTA
辻生 真由美

井上 健

Dual Source (2管球搭載) CTにおける当院での現状と実績
上田 祐二

Friday, January 29

Room 4

8:30-9:50 **ビデオレクチャー
これだけは知っておきたい、心臓外科手術!**

薬剤溶出性ステント登場は今までのステント治療を大きく進歩させただけでなく、外科手術に対する考え方も大きな影響を与えました。低侵襲を実現するためにどのように心臓をとめずに手術をするのか、バイパスの開存率を上げるためにどのような工夫をするのか、実際の手術の映像と心臓外科医のレクチャーとでわかりやすく解説します。さらに、不整脈に対する外科的治療であるMaze手術について、今回はじめてビデオレクチャーで解説をします。この機会に是非参加して見ませんか? 必見です。

座長
山下 好史
演者
虚血性心疾患に対する外科治療 CABG
南淵 明宏

座長
宮下 誠
演者
不整脈に対する外科治療 MAZE手術
道井 洋史

10:00-10:40 **術中のエコーでこれがみえる!**

心機能の評価として欠かせない存在になっている超音波検査。現在の心臓血管手術でも術前、術中にと活躍の場を広げています。今回は、特に術中の経食道エコー検査にクローズアップして講義していただきたいと考えています。チーム医療である手術は普段それぞれの役割を遂行するために意外にお互いの仕事について知る機会が少なくありませんか? これを機会に超音波検査に詳しくなり、よりよい医療を目指しましょう。

座長
上田 夏樹

シンポジスト
松原 沙織

10:50-11:50 **心臓血管外科手術中の看護記録の現状とこれからは?**

その施設の特徴や事情により、電子カルテ・パス・経時記録など様々な記録方式がある術中記録。記録することの看護師への負担の程度や手術内容、術中看護、そして、急変時の記録などについて書かれるべき内容とは? 今回は複数の施設にご協力をいただいて、実際の術中記録を見ながらそれぞれのメリットや今後の課題としていることを話合っていきたいと考えています。

座長
塙 典子、柳沼 昇

シンポジスト
出内 加奈、木田 朝子、高橋 笑美

12:00-12:30 **弁膜症外科治療の遍歴**

近年、我が国では高齢化に伴い、弁膜症を患い外科治療を受ける患者さんが増えています。主な疾患としては大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症があげられ、外科治療には人工弁、人工弁輪（リング）といった医療機器が使用されています。時代とともに手術手技が確立され、ガイドラインにより適応基準が明確になり、より安全に手術が行われるようになってきています。

さて、人工弁の歴史を振り返ると1960年代までさかのぼり、スターエドワーズボール弁という機械弁が最初に開発され臨床使用が始まります。現在では一般的に2枚のリーフレットからなる二葉弁が使用されています。生体弁も同じ頃より研究が始まり、ステント付ブタ弁が開発され臨床使用が行われます。その後、製品の均一化、耐久性を考慮したデザイン、素材、石灰化抑制処理の研究が進められ、牛の心のう膜を使用したカーペンターエドワーズ牛心のう膜生体弁が開発され、長期遠隔成績を残しています。

また、人工弁輪は自己の弁尖を残して、拡大した弁輪を正常の形に修復し、術後の再拡大防止を目的として僧帽弁用、三尖弁用が開発され、様々なタイプの人工弁輪が使用されています。

ここ数年、日本では、マグナ弁やフィジオリングIIという、より改良された製品が承認を受け、海外ではさらに、低侵襲などの新しい技術の開発も進んでおり、弁膜症治療への期待が益々高まっています。

座長

相田 伸二

演者

尾身 健二（エドワーズライフサイエンス株式会社）

14:00-18:50 **確かめてみよう！動脈硬化と血管・心臓病変**

循環器において超音波検査は必要不可欠な検査です。患者さんに対し無害で簡単に検査が行えて、人体に害を及ぼさないのも何度も繰り返し検査を施行できるメリットがあります。また、現在の医療において血流の方向、流量の評価を非侵襲的に検査が行えるのは超音波検査（ドブラ検査）だけです。最新の超音波装置は高周波数の探触子を用いれば0.1～0.5mmの血管壁の厚さも計測可能となっています。

このセッションは動脈硬化、血管病変と心臓超音波検査の日常における超音波検査の再確認として行います。FMD（血流依存性血管拡張反応検査）、下肢動脈、腎動脈、頸動脈、心臓疾患で活躍されている技師の方に撮り方、所見の見方、症例等をわかりやすく、詳しく講義をしていただきます。

14:00-16:20 **Part 1**

座長

藤田 光広

演者

FMD

井垣 誠

下肢動脈

喜村 真帆

腎動脈

竹本 和司

16:30-18:50 **Part 2**

座長

椎原 大介

演者

頸動脈

藤田 光広

心エコー（壁運動の評価）

永井 美枝子

心エコー（弁膜症の評価）

佐々木 敬子

Room 7

8:30-10:00 コメディカルに必要な基礎知識 1

PCIは1977年Gruentzig先生により世界で始めて臨床応用され30年以上経過しました。その間、手技の技術向上やデバイスの進歩に伴い、我々コメディカルにも多くの知識が必要とされています。個々のレベルアップとスタッフ間の連携はチーム医療全体のレベルアップに繋がります。個々のレベルアップには基礎知識の再確認と新しい知識を取り入れることが重要です。基本に戻って、もう一度基礎知識を再確認していただければと考えます。

座長

太田 悦雄

演者

心電図の読み方 ～虚血編～
疋田 健

心電図の読み方 ～不整脈編～

前川 正樹

冠動脈の解剖とCAGの読み方

奥田 正穂

10:00-11:00 コメディカルに必要な基礎知識 2

座長

平田 和也

演者

IABP
菊地 康昭

PCPS

木下 昌樹

11:00-12:30 コメディカルに必要な基礎知識 3

座長

赤松 俊二

演者

IVUS、OCT
齋木 力

ペリフェラルインターベンション

岡田 忠久

放射線被曝と防護

粟井 一夫

Luncheon Seminar

12:45-13:45 心臓血管センターにおけるPCIと看護の最前線

座長

添田 信之

演者

薬剤溶出ステントに関する最新情報と安全対策
日吉 重美 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

DES留置患者の服薬管理

～看護師・薬剤師のコラボレーション～

田中 良美 (京都桂病院)

DES留置患者の服薬管理

～看護師・薬剤師のコラボレーション～

野崎 歩 (京都桂病院)

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

14:00-15:00 韓国コメディカル講演



座長

平田 和也

演者

Center for patients
Dae Woo Kwon

Standard technique of percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion; Our experience with various device
Hee Ock Yoo

15:00-16:45 新人教育

- 新人看護師さんへの指導、どこまで必要？ -

CCUや心臓カテーテル室、病棟など循環器のいろいろな分野において、いかに患者さんの安全を守り治療を行うかが求められています。またその患者さん個々の状態に応じた対応と看護が求められます。患者さん個々に応じた対応をしていくためには、私達看護師は、日頃から循環器疾患の基礎的知識に加え、患者さんの急変時に対応できるスキルも身につけておく必要があります。院内の教育体制を整えながら職員が成長していくための自己学習を支援していくことも大切であり、看護師やコメディカルは、それぞれの専門職業人として、自らの責任において継続的学習に努めることも重要です。それぞれの病院で行っておられる教育の取り組みの現状について発表していただき、意見交換をしたいと思います。多くのご意見、ご発表をお待ちしております。

座長

浅井 優子、中山 美恵子

演者

伊藤 三紀

菊山 しおり

坂元 正和

佐久間 浩樹

16:45-18:30 緊急病態・重症病態への対応

緊急場面や重症化した患者さんの看護を行うにあたり、多くの方が不安や自信のなさを感じていたりします。しかし、いつ起こるか分からない緊急場面やギリギリのところでも生命を維持している患者さんこそ、医療チームの力が必要な場面だと思います。そこで今回は、緊急時への対応や重症病態患者さんの理解も含め、経験豊富なパネラーの方達の力を借りて、この領域で我々がどのように救急病態や重症病態の患者さんの看護に取り組んでいけば良いのかを考えていきたいと思います。

座長

三上 剛人

演者

石川 亜衣

内田 幸子

瀬川 久江

中村 康雄

中村 靖代

Fireside Session

18:30-20:00 IVUS 虎の巻

座長

山口 敏和

演者

IVUSの歴史

添田 信之

もうカテ室で悩まない！-IVUS入門編-

平田 和也

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

Saturday, January 30

Room 4

8:30-10:30 PCIのデバイスを理解しよう

DESの出現など、PCIのデバイスは進歩を遂げて改良され続けています。デバイスの進歩により複雑病変や分岐部病変に対するPCI適応拡大、ガイドワイヤー等の進歩や手技の技術向上により慢性完全閉塞病変のPCI成功率が向上しています。進歩し続けているPCIにおいて、ドクターのみならず、我々コメディカルもデバイスの基礎知識を身につけることはより良質な医療を提供するうえで重要であると考えます。

座長

添田 信之、清水 速人

演者

ガイドカテーテル

野崎 暢仁

ガイドワイヤー

宮本 秋生

バルーンカテーテル

竹内 正人

ステント

菊地 康昭

ローターブレード

中川 透

アプローチ部位・止血デバイス

國井 由花

10:30-12:00 こんなときに備えて… 合併症と急変時対応

安全なPCIを行うには血行動態と病態を十分に把握して、その変化をいち早く発見して的確な対応をすることが不可欠です。しかし、PCIにおいて合併症は避けられないものもあります。もしもの時に備えて、どのような対応が必要か？またどの順番で何をすれば良いのか？エキスパートの方々に話していただきます。明日からの業務に役立つ知識満載です。

座長

平田 和也

演者

PCIにおける監視ポイント ～血行動態の把握～

赤松 俊二

PCIにおける合併症 ～合併症の種類、対応～

山口 敏和

急変時のABC ～心臓が止まる前に～

三上 剛人

Luncheon Seminar

12:00-13:00 チーム医療最前線

- 遠隔モニタリングシステム
「ケアリンク」のベネフィット -

座長
添田 信之

演者
ケアリンク導入による病院チーム医療の構築
山崎 隆文 (亀田総合病院)

新しいデバイスフォローアップ
-ケアリンク導入による患者様のメリットとチーム
医療の役割-
前田 明子 (慶應義塾大学病院)

共催：日本メドトロニック株式会社

13:30-16:00 検査 (エコーハンズ・オン)
UCG / 頸動脈 / 下肢動脈 / 腎動脈

循環器疾患で超音波が不可欠な検査であるのは、患者に
対し非侵襲的でリアルタイムに疾患を評価でき、血行状
態を把握できるからであります。今回のハンズ・オンは
循環器科で必要な心臓超音波、頸動脈エコー、下肢動脈
エコー、腎動脈エコーと心カテでアプローチになる上腕
動脈エコーを交えて行っていきます。明日から臨床の場
に役立てるよう指導します。循環器超音波検査に興味の
ある多数の方の参加をお待ちしております。

座長
鍵谷 文彦

実技講師
桜山 千恵子
永井 悟
永井 美枝子
藤田 光広

Room 5

13:00-15:00 コメディカルライブ

毎年恒例になりましたコメディカルライブデモンスト
レーションです。様々な職種の方に参加いただき、豊
橋ハートセンターのカテ室をむすんで、医師にも細かく
解説していただきながらいつでも質問できる環境でコメ
ディカルライブデモンストレーションを進めていきたく
と思います。また今回は通常のライブでは手技に隠れて
あまり見ることのできないバックヤードの技師(士)や看
護師の動きもカメラで追ひ、カテチーム全体が見渡せる
ようにしたいと考えております。皆様多数で参加くださ
いますようよろしくお願いいたします。

座長
添田 信之

コメンテーター
小林 俊博、島袋 朋子、清水 速人、平田 和也

Room 7

9:00-10:30 心カテにおける看護師及び他コメディカル
スタッフの在り方とは

新人時代も経験年数を積んでも、いつの時代も「カテ室
での看護師の役割ってなんだろ？私たち看護師は何の
ためにいるんだろ？本当に必要？」「放射線技師、臨
床工学技士、検査技師とどう役割分担したらいい？」も
しくは「みんなやっていくにはこんな事してもらった
ら助かるのに…」なんてこと思っている看護師もたく
さんいるのではないかと思います。また各施設のスタッ
フ配置によりさまざまな特色もあると思います。
そこで、看護師のみならず各職種の方に参加していただ
き要望をはじめコメディカルスタッフの在り方について
討論していただき、そこでお互いが求められているもの
を知り得る場となり、お互いを理解できる場となればと
思います。看護師だけでなくカテ室で業務されているみ
なさんは非この機会に参加いただき、言いたい放題で結
構です！貴重な意見をお聞かせ下さい。って言うか…す
っごく興味ありませんか？きっとおもしろいと思います
よ!! 参加必須!!

座長
大石 景子

シンポジスト
中山 一夫

コメンテーター
大畑 善治、平良 佑子、富田 紀雄、村上 和男、
山本 基善

Drコメンテーター
野崎 英二

10:30-12:00 患者教育
- 効果的な患者教育で、看護の質を高めよう! -

患者さんにとって、生活指導は高度な医療と同じくらい
大切なことであり、継続看護を実践する中で、私達は患
者さんに関わる問題に向き合い、専門職としての確かな教
育をしていく必要があります。日々、患者教育を行う時
に難しさを感じることもあるかと思えます。そこで、こ
のセッションでは、患者教育について、現状・工夫・評
価・課題について発表していただき、今後、充実した効
果的な患者教育を行うために、皆様と有意義なディスカ
ッションができればと考えています。

座長
穴戸 尚美、中村 笑美

演者
石川 芳枝

小山 順子

島袋 朋子

中村 康雄

野村 典子

Luncheon Seminar12:00-13:00 **XIENCE V ベーシックコース**座長
平田 和也演者
XIENCE V 製品概要
野崎 洋一XIENCE V & PROMUS安全管理に関する講習会
神崎 孝文 (アボットバスキュラージャパン株式会社)

共催：アボットバスキュラージャパン株式会社

13:00-13:40 **血圧・中心血圧の意義**

血圧は心臓から送り出された血液が動脈の血管壁を押し出す力の事を示します。血圧はカテーテル検査に携わっているコメディカルスタッフにおいて患者さんのバイタル確認できる必要な検査です。近年、中心血圧（大動脈起始部の圧）が話題になり、上腕にカフを巻いて測定する血圧とは違う測定方法によって“危険な高血圧”を測定できるようになってきました。血圧の意義と中心血圧の基本的な内容と臨床的な応用について講義をいたします。

座長
佐藤 直子

演者

鶴岡 尚志

13:50-14:30 **PWV・ABIの基本**

日本人の食生活の欧米化により動脈硬化を発症する患者さんが増えてきています。動脈硬化の進展する事によって脳梗塞、心筋梗塞等が増加傾向にあります。ABI・PWVは両手、両足の血圧の状態をみて動脈硬化、下肢動脈の病変を簡便に測定できる装置であります。装置の普及率も高く循環器内科のある施設では欠かせない検査となっています。動脈硬化の評価だけではなくPTAの治療前後の評価としても有用です。

座長
佐藤 直子

演者

納口 英次

14:40-15:20 **虚血性疾患の血液検査データの読み方**

心筋梗塞が発症すると心筋組織が徐々に影響を受け心筋細胞から酵素、タンパク質が流出し血液検査データが異常を来します。血液検査のデータの値は心筋梗塞が発症してから時間によっても変わってきますので、正確に判断するのは難しいですが、おおよその診断はできます。心筋梗塞による血液検査の項目と時間による推移、変化と臨床を交えて詳しく解りやすく講義をします。

座長
佐藤 直子

演者

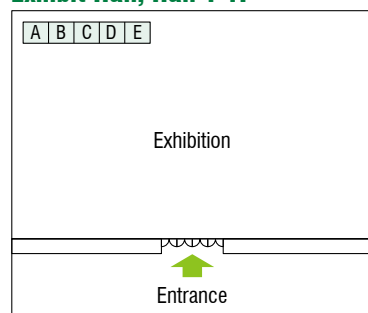
北川 文彦

Co-medical

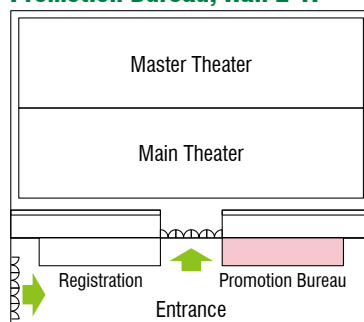
	Thursday, January 28	Friday, January 29	Saturday, January 30
8:00	受付・貼付	受付・貼付	受付・貼付
9:00	Presentation 臨床検査技師・臨床工学技士	Presentation 看護師	Presentation 放射線技師
10:00			
11:00	Digital Poster Session 臨床検査技師・臨床工学技士	Digital Poster Session 看護師	Digital Poster Session 放射線技師
12:00	表彰式	表彰式	表彰式
13:00	}		
17:00			
18:00	撤去	撤去	撤去

Venue

Poster Session Exhibit Hall, Hall 1 1F



Digital Poster Session Promotion Bureau, Hall 2 1F



ポスター発表

場所: ポスターセッション受付(神戸国際展示場1号館1F、展示場内)

[メディカル] ※午前と午後で貼替えとなります

<午前の部>

受付・貼付: 8:00~ 9:00
発表: 10:00~11:30
撤去: 12:00~13:00

<午後の部>

受付・貼付: 13:00~14:00
発表: 14:30~16:00
撤去: 17:30~18:30

[コメディカル]

受付・貼付: 8:00~ 9:00
発表: 1/28・1/29 9:00~10:30
1/30 9:00~10:15
撤去: 17:00~18:00

- ・発表当日の上記時間内に各自でポスター受付・貼付及び撤去をお願いいたします。
- ・発表者はセッション開始10分前までに各パネル前で待機してください。
- ・発表時間: 口頭5分、質疑2分(メディカル・コメディカル共通)
- ・撤去時間を過ぎても掲示されているポスターについては事務局(神戸国際展示場2号館1F)にて撤去、保管いたします。
- ・会期終了後には処分いたしますので予めご了承下さい。

デジタルポスター発表

場所: 神戸国際展示場2号館1F、Promotion Bureau

[メディカル]

1/28・1/29 16:00~17:30

[コメディカル]

1/28・1/29 11:00~12:30
1/30 10:30~12:00

- ・セッションの15分前までに受付にてコンピューターの試写をお済ませ下さい。
- ・発表者はセッション開始時刻までにデジタルポスターセッション会場の次演者席で待機してください。
- ・発表時間: 口頭10分、質疑5分(メディカル・コメディカル共通)

表彰式

メディカル・コメディカル

各デジタルポスターセッション終了後、審査員らによりThe CCT2010 Award for Excellenceが選出され、表彰式を開催いたします。

The CCT2010 Award for Excellence
研究助成金10万円(メディカル)、5万円(コメディカル)

Thursday, January 28

Booth D

9:00-10:30 **臨床検査技師・臨床工学技士**

座長
宮本 秋生

- C-01 下肢末梢血管に対するLaser治療効果の検証
林 貞治
千葉西総合病院
- C-02 PCI時におけるIVUS(Volcano)不通過症例の検討
中川 透
金沢医科大学病院
- C-03 膝窩動脈穿刺に対する体表超音波を用いた新たな止血法の検討
永井 美枝子
済生会横浜市東部病院
- C-04 VISIWAVEの使用経験と計測精度の検討
笹盛 幹文
心臓血管センター北海道大野病院
- C-05 血管内超音波装置(IVUS)におけるNURD出現率の比較
三浦 絵里花
心臓血管研究所附属病院
- C-06 側枝に対するステントストラットワイヤリングのIVUSによる検証
白武 麻衣子
済生会横浜市東部病院
- C-07 投射角度の工夫による左冠動脈前下行枝入口部へのステント留置の検討
塘 由香
佐賀県立病院好生館
- C-08 iLab™ (Boston Scientific社製IVUS) のiMap™ 機能使用経験
寺島 敏晃
昭和大学横浜市北部病院
- C-09 Intervention施行時における高効率持続的血液濾過透析の評価および腎機能の予後検討
Digital
前川 正行
医療法人ハートセンター 草津ハートセンター
- C-10 大動脈バルーンパンピング装着中の穿刺部血腫～同一術者による連続103例での検討～
細田 千昭
鳥取赤十字病院
- C-11 Guard wireの過拡張現症についての検討
Digital
大林 明日香
京都桂病院

Booth E

9:00-10:30 **臨床検査技師・臨床工学技士**

座長
菊地 康昭

- C-12 当院におけるDESの再狭窄に関する検討
河津 敏郎
健康保険南海病院
- C-13 各種血栓吸引カテーテルの性能評価
Digital
川崎 誠
済生会横浜市東部病院
- C-14 STENTの拡がりや長さの比較検討
関根 良美
星総合病院
- C-15 ローコンプライアントバルーンのコンプライアンス性能の比較検討
Digital
原田 祐輔
北海道社会保険病院
- C-16 急性動脈閉塞症にPTAが無効でFogarty catheter血栓除去が著効した1例
野口 幸
康仁会 西の京病院
- C-17 当院におけるCypher stentとTAXUS stentの再狭窄に関する検討
佐藤 聖和
昭和大学横浜市北部病院
- C-18 PCI業務における臨床工学技士の役割と工夫
脇田 亜由美
愛知県立循環器呼吸器病センター
- C-20 AMIIによるCPA後の緊急カテーテル治療において～第2カテ室からの考察～
國井 由花
会津中央病院
- C-21 造影剤製品ヨード量の違いと造影カテーテル細径化による造影効果の違い
野崎 暢仁
医療法人 財団 康生会 武田病院
- C-22 XIENCE VステントのplatformであるMULTI-LINK VISIONステントの拡張性の検討
木下 昌樹
岡崎市民病院

Promotion Bureau

11:00-12:00

Digital Poster Session

臨床検査技師・臨床工学技士

座長

中川 透、前川 正樹

コメンテーター

國井 由花

審査委員

赤松 俊二

審査委員長

北山 道彦

C-13 各種血栓吸引カテーテルの性能評価

Digital

川崎 誠

済生会横浜市東部病院

C-15 ローコンプライアントバルーンのコンプライアンス性能の比較検討

Digital

原田 祐輔

北海道社会保険病院

C-09 Intervention施行時における高効率持続的血液濾過透析の評価および腎機能の予後検討

Digital

前川 正行

医療法人ハートセンター 草津ハートセンター

C-11 Guard wireの過拡張現症についての検討

Digital

大林 明日香

京都桂病院

12:00-12:30

Poster Session

表彰式

Friday, January 29

Booth D

9:00-10:30 看護師

座長

石川 芳枝

- C-23** ICUにおけるカンファレンスの充実
梶浦 直美
愛知県立循環器呼吸器病センター
- C-24** AMI患者に対する継続した患者指導～患者参画型看護計画を導入して～
深堀 慎一郎
愛知県立循環器呼吸器病センター
- C-25** 冠動脈CT検査における長時間作用型 β 遮断薬前日投与の有用性
小出 佐智子
佐賀県立病院 好生館
- C-26** ACS患者の心臓血管造影室導入時間の短縮～時間切迫でのヒューマンエラーを改善～
新納 慎也
愛知県立循環器呼吸器病センター
- C-27** 電子カルテ導入一年後のカテ看護記録の評価（アセスメントの記載状況及び意識調査）
藤井 紀寛
福山循環器病院
- C-28** 急変時対策！カテ室スタッフ教育の試み～チームで守ろう患者の命～
木下 博子
岸和田徳洲会病院
- C-29** アンケート調査からわかる カテ室看護師の苦手意識
小林 紀美
湘南鎌倉総合病院
- C-30** カテ室における危険予知トレーニングの取り組み
小林 利恵
星総合病院
- C-31** 心臓大血管術後における難渋例に対するアプローチ～早朝回診参加の有用性～
原田 真二
医療法人社団 公仁会 大和成和病院
- C-32** 冠動脈CT検査における β 遮断薬の副作用に対する看護ケアの検討
田中 理恵
北海道社会保険病院
- C-33** 冠動脈形成術後の退院指導パンフレットを考えて
庄田 雅美
康仁会 西の京病院
- C-34** 生産工学に基づいた業務改善
高野 聡
群馬大学医学部附属病院

- C-35 心臓カテーテル検査から包括的心臓リハビリテーションへの包括的アプローチについて
道家 智恵
市立福知山市民病院
- C-36 橈骨動脈穿刺の合併症発生状況と問題点について
山崎 芳江
心臓血管研究所付属病院
- C-37 心臓カテーテル検査前のオリエンテーションビデオの評価
平山 英子
五所川原市立西北中央病院

Promotion Bureau

11:00-12:00 **Digital Poster Session**
看護師

座長

野芝 志乃、佐久間 浩樹

コメンテーター

中村 康雄

審査委員

龍野 和恵

審査委員長

松岡 宏

- C-27 **Digital** 電子カルテ導入一年後のカテ看護記録の評価（アセスメントの記載状況及び意識調査）
藤井 紀寛
福山循環器病院
- C-28 **Digital** 急変時対策！カテ室スタッフ教育の試み
～チームで守ろう患者の命～
木下 博子
岸和田徳洲会病院
- C-29 **Digital** アンケート調査からわかる カテ室看護師の苦手意識
小林 紀美
湘南鎌倉総合病院
- C-30 **Digital** カテ室における危険予知トレーニングの取り組み
小林 利恵
星総合病院
- C-32 **Digital** 冠動脈CT検査におけるβ遮断薬の副作用に対する看護ケアの検討
田中 理恵
北海道社会保険病院

12:00-12:30 **Poster Session**
表彰式

Saturday, January 30

Booth D

9:00-10:15 **放射線技師**

座長

河合 政和

- C-38 当院における心臓カテーテル検査室の放射線防護具の管理について
蓬莱 忠志
康仁会 西の京病院
- C-39 当施設におけるOCTの使用経験
新井 克哉
信州大学医学部附属病院
- C-40 **Digital** スtentグラフト治療におけるtype2エンドリークについての症例報告
古長 秀人
湘南鎌倉総合病院
- C-41 **Digital** OCT画像の血管内腔の検討 IVUS画像との比較
水谷 寛
桜橋渡辺病院 心臓・血管センター
- C-42 OCT施行時の血球除去方法の検討 Occlusionとnon-Occlusion
森重 美穂
桜橋渡辺病院 心臓・血管センター
- C-43 持続的ネガティブコントラスト法によるIVUS画像の有理性
小坂 祐紀
桜橋渡辺病院 心臓・血管センター
- C-44 Terumo社製Intrafocus WRを用いたwire biasの評価
川村 克年
桜橋渡辺病院 心臓・血管センター
- C-45 **Digital** 頸動脈stent留置術（CAS）における放射線技師の役割
長谷川 謙司
一宮市立市民病院
- C-46 Stent留置後にAneurysmを生じた症例
太田 陽一郎
上尾中央総合病院
- C-47 当院糖尿病患者における心筋梗塞の発見と治療
野村 佳克
財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院

Booth E

9:00-10:15 放射線技師

座長
小倉 圭史

- C-48 冠動脈CTA高度石灰化症例における心筋血流シンチとその融合画像の臨床的有用性
藤沢 康雄
大阪警察病院
- C-49 心臓CTの診断能および石灰化病変の評価について
Digital 轟木 武司
社会福祉法人 京都博愛会 富田病院
- C-50 64列心臓MDCTにおける造影剤注入プロトコルの検討
浅野 領太
名古屋徳洲会総合病院
- C-51 CoronaryCTAにおける心電同期フラッシュスキャンの臨床における検討
吉田 弘樹
亀田総合病院
- C-52 下肢動脈高度石灰化病変における下肢3DCTA画像の検討
永井 基博
亀田総合病院
- C-53 インピーダンス心拍出量モニタによる心拍出量測定と心臓CTにおける造影効果との関係
Digital 柴 俊幸
所沢ハートセンター
- C-54 末梢血管治療（EVT）における対治療CT画像（EACTA）の有用性について
富田 敦史
社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院
- C-55 心筋駆出率評価の解析について
野村 佳克
財団法人 東京都医療保険協会 練馬総合病院
- C-56 3次元冠動脈MRAにおいて撮像スライス断面の違いによる血管描出能の検討
京谷 勉輔
三菱神戸病院
- C-57 冠動脈CTAにおける石灰化スコアの検討
阪野 寛之
岡崎市民病院

Promotion Bureau

10:30-11:30 Digital Poster Session
放射線技師

座長
善積 透、清本 昌義

コメンテーター
川合 正人

審査委員
水戸 武史

審査委員長
加藤 敦

- C-40 スtentグラフト治療におけるtype2エンドリークについての症例報告
Digital 古長 秀人
湘南鎌倉総合病院
- C-41 OCT画像の血管内腔の検討 IVUS画像との比較
Digital 水谷 寛
桜橋渡辺病院 心臓・血管センター
- C-49 心臓CTの診断能および石灰化病変の評価について
Digital 轟木 武司
社会福祉法人 京都博愛会 富田病院
- C-45 頸動脈ステント留置術（CAS）における放射線技師の役割
Digital 長谷川 謙司
一宮市立市民病院
- C-53 インピーダンス心拍出量モニタによる心拍出量測定と心臓CTにおける造影効果との関係
Digital 柴 俊幸
所沢ハートセンター

11:30-12:00 Poster Session
表彰式

CT Skill-up Seminar

* 事前登録制・当日聴講可

Date : 1月28日(木)~1月30日(土)

Course Director: 角辻 暁

Venue : 神戸国際展示場 1号館1階

Room : CT Skill-up Seminar

イメージングは Complex PCI を成功させる一つのキープポイントです。

本セッションでは CTO・石灰化病変・分枝部病変などの複雑病変における PCI において IVUS, CT, OCT をいかに使うかについて示します。

今まで使っている IVUS をさらに有効に使う方法、新しいイメージングとしての CT・OCT をいかに Complex PCI に使う方法、を是非習得して日々の症例に活かしていただきたいと思います。

内容

64列 MDCT の普及に伴い、冠動脈診断において心臓 CT は不可欠な検査として地位を確立しつつあります。256/320列および dual source CT も使用可能となりさらに可能性も拡大していくでしょう。今や CT が冠動脈疾患の検出ツールにとどまらず PCI のストラテジーを構築する画像情報となっていることは御承知の通りです。ただし、われわれ冠動脈インターベンションナリストが自ら画像解析をしなければ、真に有効利用することはできません。したがって、この心臓 CT を使いこなす能力は今後必須となるといっても過言ではありません。本コースでは Sliding Slab MIP 法を用いた冠動脈診断を御紹介します。昨年に引き続き皆さんを心臓 CT の世界へご招待します。今年は解析ソフトを4社から選択できるようにしました。それに伴い機種によっては希望者が多数となる可能性がありますのでお早めにお申し込み下さい。

また、ご自身の施設で撮影された CT データを御持参いただければ講習の空き時間に、各社の解析ソフトを使って画像解析をすることができます。われわれがフルサポートいたします。データは再構成をおこなった最適フェーズ axial 画像を DICOM データでお持ち下さい。ご不明の場合はCTメーカー担当者へご確認いただくことをお勧めいたします。

- 1.会場大型スクリーンを使って講師が正常冠動脈、石灰化病変、閉塞病変等のCT画像の読み方・PCIへの応用法を講義します。
- 2.講義後、各社のワークステーションを用い講義と同一画像で画像描出・PCI応用についてハンズオントレーニングを行います。

総論:

- Sliding Slab MIP 法の基礎
- 冠動脈のスクリーニング
- 冠動脈長軸・短軸画像評価

症例検討(解析ソフト別講習):

- プラークの検出
- プラークの分布・質的評価
- 石灰化の評価
- ステント内評価
- CTOの評価

共催: (株)エルクコーポレーション / テラリコン・インコーポレイテッド
GEヘルスケアジャパン(株)
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
ザイオンソフト(株)

スケジュール

日付	セッション	時間	対象
1月28日(木)	A	10:00-11:30	Medical/Co-Medical
	B	14:30-16:00	Medical/Co-Medical
1月29日(金)	C	10:00-11:30	Medical/Co-Medical
	D	14:30-16:00	Medical/Co-Medical
1月30日(土)	E	10:00-11:30	Medical/Co-Medical

当日参加について

当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

また、参加登録に関わらず、ご聴講は可能です。

FFR Start-up Center

* 事前登録制・当日聴講可

Date : 1月28日(木)~1月30日(土)

Venue : 神戸国際展示場 1号館1階

Room : FFR Start-up Center

Course Director: 田中 信大
高山 忠輝

このコースは、生理学的評価におけるFFR(冠血流予備量比)の基礎、役割、技術を様々なシナリオの症例検討を通して、学ぶことが出来るコースです。

内容

- FFRとは
- 手技の流れ
- 症例検討
- 製品紹介

共催: セント・ジュード・メディカル(株)
ボルケーノ・ジャパン(株)

スケジュール

日付	セッション	時間	対象	トレーナー
1月28日(木)	A	14:30-15:30	Medical/Co-Medical	伊藤 賀敏 (大阪府済生会千里病院)
	B	16:00-17:00	Medical	高山 忠輝 (日本大学医学部付属板橋病院)
1月29日(金)	C	10:30-11:30	Co-Medical	田中 信大
	D	14:30-15:30	Medical/Co-Medical	藤井 健一
	E	16:00-17:00	Medical	松尾 仁司
1月30日(土)	F	10:30-11:30	Co-Medical	北端 宏規 (和歌山県立医科大学病院)

当日参加について

当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。
また、参加登録に関わらず、ご聴講は可能です。

OCT Training Center

* 事前登録制・当日聴講可

Date : 1月28日(木)~1月30日(土)

Venue : 神戸国際展示場 1号館1階

Room : OCT Training Center

Course Director: 赤阪 隆史

内容

OCT のエキスパートによる原理・使用方法・画像の読み方などのレクチャー、質疑応答などを行います。

共催: (株)グッドマン

スケジュール

日付	時間	講師
1月28日(木)	15:00-16:00	谷川 淳 (大阪医科大学)
1月29日(金)	10:00-11:00	谷川 淳 (大阪医科大学)
	14:00-15:00	片岡 亨 (大阪市立大学)
1月30日(土)	10:00-11:00	片岡 亨 (大阪市立大学)

当日参加について

当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。
また、参加登録に関わらず、ご聴講は可能です。

IVUS Learning Center

* 事前登録制・当日聴講可

Date : 1月28日(木)~1月30日(土)

Course Director: 本江 純子

Venue : 神戸国際展示場 1号館1階

Room : IVUS Learning Center

内容

- 1) IVUS のエキスパートによる画像の判読に関するレクチャーを行います。
- 2) Small group に分かれて少数精鋭によるレクチャーを行います。

- Standard: 基礎的な画像理解、計測方法の講義
- Advanced: IVUS の情報を PCI 戦略に応用

1. IVUS の画像を多数用意しています。
2. 教材を使用した個別の discussion (時間等についてはご相談下さい)
3. その他、IVUS に関する疑問やご相談にお答えします。

共催: 関東甲信越 IVUS 研究会
テルモ(株)
ポストン・サイエンティフィック ジャパン(株)
ボルケーノ・ジャパン(株)

スケジュール

日付	時間	セッション名	コース名	レベル	対象	トレーナー
Thursday, January 28	14:30-16:00	Session A	A-1	Standard	Doctor/Co-medical	平田 和也
			A-2	Standard	Doctor/Co-medical	添田 信之
			A-3	Advanced	Doctor	小林 欣夫
Friday, January 29	10:00-11:30	Session B	B-1	Standard	Doctor/Co-medical	寺島 充康
			B-2	Standard	Doctor/Co-medical	大倉 宏之
			B-3	Advanced	Doctor	高木 厚
	14:30-16:00	Session C	C-1	Standard	Doctor/Co-medical	伊藤 良明
			C-2	Standard	Doctor/Co-medical	山口 浩士
			C-3	Advanced	Doctor	浦澤 一史
Saturday, January 30	10:00-11:30	Session D	D-1	Standard	Doctor/Co-medical	森野 禎浩
			D-2	Standard	Doctor/Co-medical	園田 信成
			D-3	Advanced	Doctor	本江 純子

当日参加について

当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。
また、参加登録に関わらず、ご聴講は可能です。

PCI Hands-on Center

* 当日参加型プログラム

Date : 1月28日(木)～1月30日(土)

Venue : 神戸国際展示場 1号館2階

Room : PCI Hands-on Center

内容

CCT2010では、Hybrid Model(擬似血管・冠動脈モデル)を用い、実際のデバイスを使用したPCI手技トレーニングを企画いたしました。対象はMedicalの方々のみでなくCo-Medical向けのコースも準備しております。

本セッションは参加自由のHands-on体験コーナーとなっており、先生方にはDeliver of Stent やBifurcation Stentingなどを体験していただくことが出来ます。また、セッションの最後には留置したStentを血管モデルから取り出しご評価していただけます。

コメディカルの方々にはGWのシェイピングから操作、Balloonの拡張、Stent留置など、PCIの一連の手技体験していただけます。

共催: アボットバスキュラージャパン(株)

スケジュール

日付	時間
1月28日(木)	10:00-12:30 / 14:00-16:30
1月29日(金)	10:00-12:30 / 14:00-16:30
1月30日(土)	10:00-12:00 / 13:30-16:00

参加登録について

参加受付は当日セッション会場にて行いますので、会場のアボットバスキュラー担当者にお申し込みください。尚、ご来場順での受付となりますので予めご了承ください。

エコーハンズ・オン

* 事前登録制・当日聴講可

Date : 1月30日(土) 13:30～16:00

Venue : 神戸国際展示場 2号館3階

Room : Room 4

エコーハンズ・オン～循環器超音波検査の達人にします!～

循環器疾患で超音波が不可欠な検査であるのは、患者に対し非侵襲的でリアルタイムに疾患を評価でき、血行状態を把握できるからであります。今回のハンズ・オンは循環器科に必要な心臓超音波、頸動脈エコー、下肢動脈エコー、腎動脈を行っていきます。

明日から臨床の場に役立てるよう指導します。循環器超音波検査に興味のあるメディカル/コメディカルの多数の参加をおまちしております。

- ・ UCG
- ・ 頸動脈
- ・ 下肢動脈
- ・ 腎動脈

Hand-on trainers

桜山 千恵子
永井 悟
永井 美枝子
藤田 光広

当日参加について

当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。また、参加登録に関わらず、ご聴講は可能です。